



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052) 222-8202
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,058	-	288	-	285	-	240	-
30年3月期第1四半期	3	-	△31	-	△32	-	△33	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	4.90	-
30年3月期第1四半期	△0.67	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,751	4,728	61.0
30年3月期	7,450	4,488	60.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 4,728百万円 30年3月期 4,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	-	-	0.00	0.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	796.4	330	-	300	-	250	-	5.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	49,845,000株	30年3月期	49,845,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	49,583株	30年3月期	49,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	49,193,417株	30年3月期1Q	49,347,036株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は平成30年6月27日開催の第128回定時株主総会において、平成30年10月1日を効力発生日とする株式併合に関する議案が承認可決され、普通株式10株につき1株の割合をもって併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更する予定であります。これに伴い、株式併合を考慮する場合の平成31年3月期の業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成31年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益

期末 50円16銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費も持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社におきましては、平成30年4月に予定どおり新劇場が開場し、4月1日より、松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎の襲名披露となる柿落し公演「柿茸落四月大歌舞伎」が行われました。また、5月には「スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」」、6月には「滝沢歌舞伎2018」、「鳥羽一郎 山川豊 with 石原詢子 ふるさとコンサート」が行われ、前年同期には当社主催公演が1回も行われませんでした。当第1四半期の公演回数は129回となりました。当第1四半期累計期間の業績は、売上高20億5千8百万円（前年同期は3百万円）となりました。利益面では、営業利益2億8千8百万円（前年同期は営業損失3千1百万円）、経常利益2億8千5百万円（前年同期は経常損失3千2百万円）、四半期純利益2億4千万円（前年同期は四半期純損失3千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、14億2千4百万円となり、前事業年度末に比べ3億6千5百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億4千7百万円減少したものの、売掛金が10億4千4百万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、63億2千7百万円となり、前事業年度末に比べ6千3百万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が3千万円、機械及び装置が2千2百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、77億5千1百万円となり、前事業年度末に比べ3億1百万円の増加となりました。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、9億2千8百万円となり、前事業年度末に比べ1億1千7百万円の増加となりました。この主な要因は、前受金が1億3千3百万円、未払金が1億1千9百万円減少したものの、買掛金が3億4千万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、20億9千4百万円となり、前事業年度末に比べ5千6百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が5千万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、30億2千3百万円となり、前事業年度末に比べ6千1百万円の増加となりました。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、47億2千8百万円となり、前事業年度末に比べ2億3千9百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が2億4千万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	630,338	282,493
売掛金	61,337	1,105,696
貯蔵品	1,928	1,976
その他	366,768	35,207
貸倒引当金	△997	△997
流動資産合計	1,059,375	1,424,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,972,478	2,941,818
機械及び装置(純額)	973,661	951,341
土地	2,124,656	2,124,656
その他	207,967	204,896
有形固定資産合計	6,278,764	6,222,713
無形固定資産		
投資その他の資産	60,157	57,742
投資有価証券	42,330	40,414
その他	10,179	6,578
投資その他の資産合計	52,509	46,992
固定資産合計	6,391,431	6,327,447
資産合計	7,450,806	7,751,825
負債の部		
流動負債		
買掛金	-	340,652
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	242,908	123,760
未払法人税等	9,696	51,280
前受金	275,519	141,644
預り金	69,366	30,321
その他	13,622	41,108
流動負債合計	811,112	928,768
固定負債		
長期借入金	1,800,000	1,750,000
繰延税金負債	277,082	277,069
退職給付引当金	23,560	17,943
その他	50,127	49,564
固定負債合計	2,150,770	2,094,578
負債合計	2,961,882	3,023,346

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	107,834	348,655
自己株式	△38,895	△38,895
株主資本合計	4,478,498	4,719,320
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,425	9,158
評価・換算差額等合計	10,425	9,158
純資産合計	4,488,923	4,728,478
負債純資産合計	7,450,806	7,751,825

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,057	2,058,831
売上原価	5,156	1,696,021
売上総利益又は売上総損失(△)	△2,098	362,809
販売費及び一般管理費	29,606	74,269
営業利益又は営業損失(△)	△31,705	288,539
営業外収益		
受取利息	58	0
受取配当金	1,105	1,094
保険返戻金	-	1,343
その他	60	386
営業外収益合計	1,224	2,824
営業外費用		
支払利息	-	5,790
株式交付費	2,379	-
その他	68	231
営業外費用合計	2,447	6,022
経常利益又は経常損失(△)	△32,928	285,342
特別損失		
投資有価証券評価損	-	636
特別損失合計	-	636
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△32,928	284,705
法人税、住民税及び事業税	239	43,883
法人税等合計	239	43,883
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,167	240,821

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。



平成31年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成30年8月10日

上場会社名 株式会社 御園座 上場取引所 名
 コード番号 9664 URL http://www.misonoza.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)宮崎敏明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役総務経理部長 (氏名)増井敏樹 (TEL) (052) 222-8202
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	2,058	-	288	-	285	-	240	-
30年3月期第1四半期	3	-	△31	-	△32	-	△33	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	4.90	-
30年3月期第1四半期	△0.67	-

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第1四半期	7,751	4,728	61.0
30年3月期	7,450	4,488	60.2

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 4,728百万円 30年3月期 4,488百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	-	-	-	0.00	0.00
31年3月期	-	-	-	-	-
31年3月期(予想)	-	-	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	796.4	330	-	300	-	250	-	5.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期1Q	49,845,000株	30年3月期	49,845,000株
② 期末自己株式数	31年3月期1Q	49,583株	30年3月期	49,583株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期1Q	49,193,417株	30年3月期1Q	49,347,036株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 当社は平成30年6月27日開催の第128回定時株主総会において、平成30年10月1日を効力発生日とする株式併合に関する議案が承認可決され、普通株式10株につき1株の割合をもって併合し、単元株式数を1,000株から100株に変更する予定であります。これに伴い、株式併合を考慮する場合の平成31年3月期の業績予想は以下のとおりです。

(1) 平成31年3月期の業績予想

1株当たり当期純利益

期末 50円16銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、好調な企業収益を背景に雇用・所得環境の改善が続くなかで、個人消費も持ち直しの動きがみられるなど、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社におきましては、平成30年4月に予定どおり新劇場が開場し、4月1日より、松本幸四郎改め二代目松本白鸚、市川染五郎改め十代目松本幸四郎の襲名披露となる柿落し公演「柿茸落四月大歌舞伎」が行われました。また、5月には「スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」」、6月には「滝沢歌舞伎2018」、「鳥羽一郎 山川豊 with 石原詢子 ふるさとコンサート」が行われ、前年同期には当社主催公演が1回も行われませんでした。当第1四半期の公演回数は129回となりました。当第1四半期累計期間の業績は、売上高20億5千8百万円（前年同期は3百万円）となりました。利益面では、営業利益2億8千8百万円（前年同期は営業損失3千1百万円）、経常利益2億8千5百万円（前年同期は経常損失3千2百万円）、四半期純利益2億4千万円（前年同期は四半期純損失3千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、14億2千4百万円となり、前事業年度末に比べ3億6千5百万円の増加となりました。この主な要因は、現金及び預金が3億4千7百万円減少したものの、売掛金が10億4千4百万円増加したことによるものであります。固定資産の残高は、63億2千7百万円となり、前事業年度末に比べ6千3百万円の減少となりました。この主な要因は、建物及び構築物が3千万円、機械及び装置が2千2百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は、77億5千1百万円となり、前事業年度末に比べ3億1百万円の増加となりました。

(負債の部)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、9億2千8百万円となり、前事業年度末に比べ1億1千7百万円の増加となりました。この主な要因は、前受金が1億3千3百万円、未払金が1億1千9百万円減少したものの、買掛金が3億4千万円増加したことによるものであります。固定負債の残高は、20億9千4百万円となり、前事業年度末に比べ5千6百万円減少しました。この主な要因は、長期借入金が5千万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は、30億2千3百万円となり、前事業年度末に比べ6千1百万円の増加となりました。

(純資産の部)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、47億2千8百万円となり、前事業年度末に比べ2億3千9百万円の増加となりました。この主な要因は、利益剰余金が2億4千万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の業績予想につきましては、平成30年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	630,338	282,493
売掛金	61,337	1,105,696
貯蔵品	1,928	1,976
その他	366,768	35,207
貸倒引当金	△997	△997
流動資産合計	1,059,375	1,424,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,972,478	2,941,818
機械及び装置(純額)	973,661	951,341
土地	2,124,656	2,124,656
その他	207,967	204,896
有形固定資産合計	6,278,764	6,222,713
無形固定資産		
投資その他の資産	60,157	57,742
投資有価証券	42,330	40,414
その他	10,179	6,578
投資その他の資産合計	52,509	46,992
固定資産合計	6,391,431	6,327,447
資産合計	7,450,806	7,751,825
負債の部		
流動負債		
買掛金	-	340,652
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払金	242,908	123,760
未払法人税等	9,696	51,280
前受金	275,519	141,644
預り金	69,366	30,321
その他	13,622	41,108
流動負債合計	811,112	928,768
固定負債		
長期借入金	1,800,000	1,750,000
繰延税金負債	277,082	277,069
退職給付引当金	23,560	17,943
その他	50,127	49,564
固定負債合計	2,150,770	2,094,578
負債合計	2,961,882	3,023,346

(単位：千円)

	前事業年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成30年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,271,937	2,271,937
資本剰余金	2,137,621	2,137,621
利益剰余金	107,834	348,655
自己株式	△38,895	△38,895
株主資本合計	4,478,498	4,719,320
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,425	9,158
評価・換算差額等合計	10,425	9,158
純資産合計	4,488,923	4,728,478
負債純資産合計	7,450,806	7,751,825

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	3,057	2,058,831
売上原価	5,156	1,696,021
売上総利益又は売上総損失(△)	△2,098	362,809
販売費及び一般管理費	29,606	74,269
営業利益又は営業損失(△)	△31,705	288,539
営業外収益		
受取利息	58	0
受取配当金	1,105	1,094
保険返戻金	-	1,343
その他	60	386
営業外収益合計	1,224	2,824
営業外費用		
支払利息	-	5,790
株式交付費	2,379	-
その他	68	231
営業外費用合計	2,447	6,022
経常利益又は経常損失(△)	△32,928	285,342
特別損失		
投資有価証券評価損	-	636
特別損失合計	-	636
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△32,928	284,705
法人税、住民税及び事業税	239	43,883
法人税等合計	239	43,883
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△33,167	240,821

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。